

ほたる草

発行責任者 杉浦史郎
代表 06-765-4041



障害者の生の声に驚き 社会の受入れ態勢の改善を



9月定例学習会
平成10年9月5日(土)
川嶋 雅恵氏
自立生活センター・ナビ
事務局長

「障害者から見たすみやかに「すい家」というテーマで、障害者が置かれている現状を御自身も重度の障害をお持ちで、現在、電動車を駆使し自立生活をされている立場から、お話を頂きました。川嶋さんは、現在「自立生活センター・ナビ」という所で、障害を持つおられ自立生活を考えている方達の支援や、介護者の紹介・派遣及び情報交換など、精力的に活動されておられます。

お話を聞き、若干ではあるのですが理解していたつもりが、生の声を聞いて、自分の想像していた以上に障害のある方の置かれている状態の悪さに、驚かされるばかりでした。川嶋さんの言葉で印象に残ったのは「障害者とはかく大きな必要要因として「住宅・所得・差」がありま

だめな金融機関を救済することに税金を使うなら、もっと国民一人一人の事を考えられる国になってもらいたいです。本来、福祉は国がしっかりとやるべきで、景気も悪く、治安も悪く、いつたこの国は何をしているのやら？」

自分の無知無能が恥ずかしく、その事を棚に上げて、行政に一段と腹立たれと介護者不足による外出の難しさ、手助けしてくる人の少なさ等が原因だそうです。

我々健常者(この様に区々の表現は適切かどうか分りませんが)は、余りに「障害者から見たすみやかに「すい家」というテーマで、障害者が置かれている現状を御自身も重度の障害をお持ちで、現在、電動車を駆使し自立生活をされている立場から、お話を頂きました。川嶋さんは、現在「自立生活センター・ナビ」という所で、障害を持つおられ自立生活を考えている方達の支援や、介護者の紹介・派遣及び情報交換など、精力的に活動されておられます。

「愛と共生」を基本理念に 多なボランティア活動を継続

10月定例学習会

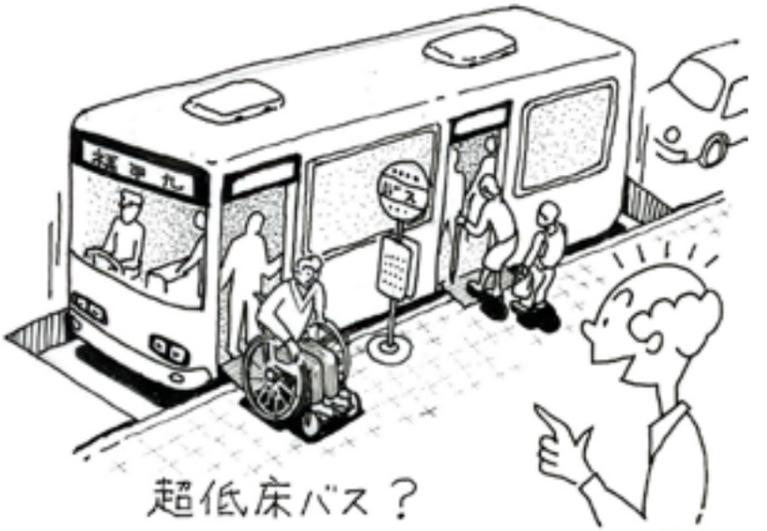
平成10年10月3日(土)
山田 裕子氏
コリアボランティア協会
代表代理

美術展を開催されるなど、今なお支援活動を継続されている。新聞記者からは、代表代理が急病で行けない時に代わりに行っている唯一の団体ではないかといわれているそうである。(記 磯川 吉郎)

「愛と共生」という協会の基本理念のもとに、様々なボランティア活動を展開している。代表代理として山田氏は代書、講演頂いた山田氏は代表代理という変わった肩書(カンスボン)氏を代表とすきであるが、その由来は、コリアボランティア協会は、生野区生まれの在日コリアン書道家である康秀峰(カンスボン)氏を代表とすきであるが、その由来は、氏の書道収入と私財、カ野氏が生野区から外に活動を開始された。96年の震災では震災とされなかった支援に取り組みまれ、この9月には長田区にオープンした喫茶店でチャリティー



小さくちゃん 萩野光



なボランティア活動を展開できないかな。)

なボランティア活動を展開できないかな。)

なボランティア活動を展開できないかな。)

現在、主な活動を展開している「ボランティアド大募集」のリーフレットでも報酬は無くても、専らからご紹介すると、「障害者は仕事としてやっていられない。高年齢者自立支援、報酬が有る無しで障害者病院介助、「南アフリカの児童へ支援と交

現在、主な活動を展開している「ボランティアド大募集」のリーフレットでも報酬は無くても、専らからご紹介すると、「障害者は仕事としてやっていられない。高年齢者自立支援、報酬が有る無しで障害者病院介助、「南アフリカの児童へ支援と交

定例会のお知らせ

12月
日時 12月5日(土) 午後1時30分~5時
場所 A.T.Cエイジレスセンター 11階
内容 「欧州福祉事情報告」 新年会
講師 畑俊治氏 (ふくてつく会員)
※パソコンボランティア「ぼこあぼこ」の合同定例会・新年会です



ふくてつくも大いに利用しましょう

事務局会議

10月11日は例年、行作成したアンケート原案に、早速会員に、今年も10月23、24 郵送する事を決めました。年度助成事業に福祉自目的の平野区福祉機器展 会員連絡網についても、動車の開発をテーマとをはじめ、大変多くのようやく整ったので、前述して応募する事になりました。

10月の事務局会議 11月28、29日は、ほでは、これらへの対応に 吟味を重ねてきた初期診 たるの苑にて、恒例の ついて討議し、担当メン 断シエクシートもまとま 合宿ミーティングを行 バーなどを決めました。り、今後の案件に適用す NPO法人格を取得する事になりました。3年を「ふくてつくの今後」する事の是非が検討さ 前に私たちの活動が生んだ とする他、ウッドディッ されてきましたが、その 青葉園仮設ホームは、長 キ上部にテント屋根を 議論の前に、創立5周 有義義に活用されてき 架設する活動などを予 年を期に当会の今後の ましたが、来春いよいよ撤 定しました。

ビジョンについて、会員 収される予定で、跡地に の意見をとりまとめる は恒設の自立体験ホーム 必要があるとの見地で と、在宅支援センターを

